

相産だより

誠実 創造 努力



相生産高創立80周年記念講演

相産高創立80周年記念式典の後、10時から、株式会社モンベル代表取締役会長兼CEO 辰野勇氏による記念講演が行われました。演題は「夢と冒険 アウトドア 7つのミッション」です。氏は小学生の頃、体が弱く、高学年の児童が集団で登る耐寒登山の行事に、参加することができませんでした。級友が楽しそうに出かけるのを見送りながら自宅待機となった、悔しい経験が自分の心に残ることになり、その思いが後に、氏を山に向かわせたということです。また高校の国語の授業で、教科書にオーストリアの登山家、ハインリッ



ヒ・ハラ著のアイガー北壁初登攀記「白い蜘蛛」が載っており、それを読み、氏は衝撃を受けます。ハラ率いる登山隊が様々なこんな困難を乗り越え、北壁の初登攀に成功します。氏は、これに感銘し、いつか自分も一人前の登山家になるために頑張ってみよう、と考えました。そして氏は、2つの目標(夢)を持ちました。一つはアイガー北壁登攀を無事完遂すること、もう一つは、山ひとすじの青春を過ごすと同時に、将来登山に関連したビジネスを興す、という夢です。

様々な紆余曲折を経て、21歳で1969年にアイガー北壁日本人第二登を果たし、1975年には、28歳の誕生日に、登山用品メーカー『株式会社モンベル』を設立されました。

様々な冒険や、起業をしてきた経歴から、多くの生死に関わる体験や苦勞があったように思われるが、自分で選んだ道なので、多くの



苦勞も楽しんできたということを述べられました。そして誰もが自分の居場所を探しながら生きており、特に将来ある若者に、夢を持ち、挑戦すること、そして好きなことを続けることの大切さ、素晴らしさを話されました。

創立100周年に向けて

記念式典に当たっては、この日のために本校一丸となり、約3年前から準備してきました。当日の式典は、講演会を含めて約2時間半ですが、その準備に費やした3年という年月は、責任ある行動が常に求められるものでした。

一般的に操業100年続く企業は、歴史ある老舗企業が多く、堅実な経営をし、従業員を大切にしています。また変化の激しい時代ですが、企業の基本理念は変えていません。学校も同じであり、脈々と受け継がれた地域社会との関係、先輩諸氏との歴史を重んじ、学び舎とその中心である生徒を大事に育ててきた結果が、相産高が100年近く生き残れた結果だと思えます。先輩諸氏の築いた軌跡を、後に続くみんなが責任を持って引き継いでいかなければなりません。それには何よりも地域の方々のご協力と支えが必要です。創立100周年に向けて一同精進してまいりますので、お力添えをよろしくお願いいたします。